

### 【3】相浦地区ってこんなまちです

#### (相浦地区の歴史)

相浦の歴史は古く、平安時代の半ば頃に武辺胤明が<sup>たけべ たねあき</sup>開拓したと伝えられています。平安時代末期には「松浦党」と呼ばれる武士たちが勢力を伸ばします。その後、松浦党は相浦を拠点とする宗家松浦氏と、平戸を拠点とする平戸松浦氏に分かれ、両者は戦国時代に戦いを繰り返しましたが、そうした中で宗家松浦氏は武辺城や飯盛城の築城など相浦の開拓に功績を残しました。

江戸時代に入ると、川下新田を皮切りに相浦地区の開拓が進み、当時海だった日野地区では、平戸藩から迎えた日野七族によって塩田が開拓されたことから、日野村という地名がついたとされています。

幕末には、実業家の草刈太一左衛門により、真申新田や大瀧新田も開拓されました。

近代においては、相浦港が石炭積出港として、また漁船基地として大いに発展しました。昭和初期から昭和25年頃までは、石炭の船積みは人力による作業であったため、作業時は人夫であふれかえっていました。

戦前戦後には、相浦発電所の建設や棚方の日産炭鉱の開鉱、大瀧新田への相浦海兵団の開設などにより、相浦商店街も大いに賑わいました。

しかし、基幹産業であった炭鉱が閉山した現在では、相浦港、そして商店街の風景は大きく変わり今に至っています。

現在では、佐世保市の文教地区として、また、恵まれた自然を活かしたまちづくりが進められています。

〔佐世保市における相浦地区の位置〕

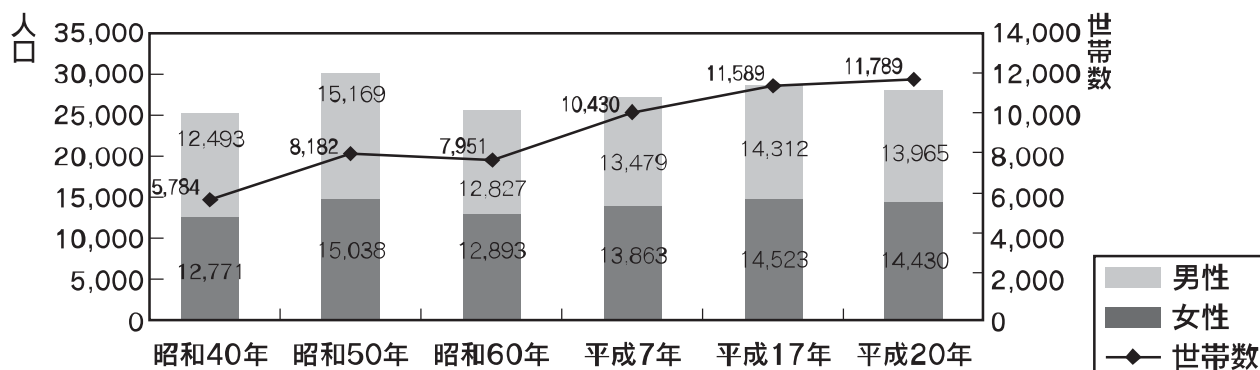


#### ★相浦地区って……どのあたりをいうの？

現在、相浦地区と呼ばれる範囲は、次のとおりです。

町名	相浦町	棚方町	光町	愛宕町	小野町	上相浦町	新田町	高島町
	竹辺町	母ヶ浦町	川下町	木宮町	浅子町			
	椎木町	星和台町	日野町	大瀧町	長坂町	鹿子前町の一部		

#### (相浦地区の人口推移) ※いずれも10月1日時点の統計資料



## (相浦地区“わがまち自慢”)

相浦地区には“自慢”がいっぱい！その一部を紹介します。

### 気まぐれ夜市

気まぐれ夜市は、相浦商店街の活性化を目的とし、平成18年の4月に、商店街の有志5店舗によってスタートしました。現在では、参加店舗も10店舗に増え、毎回元気よく賑やかに開催しています。

夕食のおかずはもちろん、どの店も夜市でしか買えない商品や、限定企画などを用意しています。

夜市を開催するにあたっては、多くの方々のご協力をいただいています。今後も「相浦が大好き！」という熱い思いで、気まぐれ夜市が地域の輪を広げることにつながればと思っています。

愉快的な仲間たちが集まった、気まぐれ夜市にぜひ一度お越しください。



### ちんどん我楽多家

ちんどん我楽多家は、相浦商店街の賑わいを図ることを目的に、相浦町協議会が中心となり平成3年に結成されました。

愛宕まつりや相浦おくちなどの諸行事に参加し、今では子どもチンドンバンドも誕生し、相浦の名物となっています。



### 鳥たちの楽園・江楯池

江楯池は大潟町(美崎が丘)の端にあり、渡り鳥が飛来する県北最大の池です。昔は夏休みになると水とたわむれる子どもたちの声が聞こえていましたが、今は水鳥たちの憩いの場となり、愛らしい姿を見ることができます。

早春にはウグイスが鳴き、オシドリなど北へ帰る渡り鳥が羽根を休めに舞い降りる姿は、いつまでも眺めていたいと思うほど素晴らしい光景です。

住宅地が隣接しているにもかかわらず静かな江楯池は、鳥たちにとってまさに楽園なのです。



### 相浦川史跡保存会

平成6年3月、江戸時代より伝わる「史跡相浦川飛石」が復元されたのをきっかけに、地域住民有志によって結成されました。

飛石の保存と相浦川の美化を目的に、飛石安全祈願祭の開催や相浦橋下の草刈り清掃、コイのぼりの掲揚などを活動として行っています。



### 愛宕市

愛宕市は毎年2月に開催され相浦に春の訪れを告げる風物詩です。山頂で行われる祭礼の際にふもとで開かれる門前市が由来と言われています。

相浦本通りには、約1kmにわたって道の両側に植木・陶器・農機具・食べ物など約120の露店がずらりと並びます。

期間中、市内はもとより平戸・北松方面からも多くの人が訪れ、賑わいます。

伝統行事を地域の活性化につなげたいと、相浦商工振興会や相浦町協議会、相浦地区連合町内会などで組織している愛宕祭協賛会が主催しています。

